

グローバル・ハイブリッド・プレミア (為替ヘッジなし)

運用報告書 (全体版)

第107期 (決算日 2023年9月19日) 第109期 (決算日 2023年11月17日) 第111期 (決算日 2024年1月17日)
第108期 (決算日 2023年10月17日) 第110期 (決算日 2023年12月18日) 第112期 (決算日 2024年2月19日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「グローバル・ハイブリッド・プレミア (為替ヘッジなし)」は、2024年2月19日に第112期の決算を行ないましたので、第107期から第112期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/その他資産 (ハイブリッド証券)
信託期間	2014年11月5日から2024年8月19日までです。
運用方針	主として、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券を主要投資対象とする投資信託証券 (投資信託または外国投資信託の受益証券 (振替投資信託受益権を含みます。)) および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。) の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド アンヘッジド・クラス」受益証券 「マネー・アカウンタブル・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマースヤル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

お知らせ

当ファンドは、2024年8月19日に信託期間が終了し、償還を迎える予定です。

<642495>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号: 0120-25-1404
午前9時~午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	標準価額			債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落				
	円	円	円	%	%	%	百万円	
83期(2021年9月17日)	9,759	40	0.8	—	—	94.9	18	
84期(2021年10月18日)	9,967	40	2.5	—	—	95.0	20	
85期(2021年11月17日)	9,830	40	△1.0	—	—	94.3	20	
86期(2021年12月17日)	9,699	40	△0.9	—	—	95.0	20	
87期(2022年1月17日)	9,673	40	0.1	—	—	95.0	20	
88期(2022年2月17日)	9,510	40	△1.3	—	—	94.8	21	
89期(2022年3月17日)	9,376	40	△1.0	—	—	95.1	20	
90期(2022年4月18日)	9,813	40	5.1	—	—	95.2	21	
91期(2022年5月17日)	9,504	40	△2.7	—	—	94.9	21	
92期(2022年6月17日)	9,393	40	△0.7	—	—	94.9	21	
93期(2022年7月19日)	9,505	40	1.6	—	—	95.0	21	
94期(2022年8月17日)	9,685	40	2.3	—	—	95.2	22	
95期(2022年9月20日)	9,647	40	0.0	—	—	94.9	22	
96期(2022年10月17日)	9,345	40	△2.7	—	—	95.0	22	
97期(2022年11月17日)	9,571	40	2.8	—	—	95.2	23	
98期(2022年12月19日)	9,647	40	1.2	—	—	95.0	23	
99期(2023年1月17日)	9,235	40	△3.9	—	—	95.0	21	
100期(2023年2月17日)	9,636	40	4.8	—	—	95.2	21	
101期(2023年3月17日)	8,865	40	△7.6	—	—	94.2	22	
102期(2023年4月17日)	9,216	40	4.4	—	—	95.1	25	
103期(2023年5月17日)	9,303	40	1.4	—	—	95.0	26	
104期(2023年6月19日)	9,907	40	6.9	—	—	95.1	26	
105期(2023年7月18日)	9,918	40	0.5	—	—	95.3	26	
106期(2023年8月17日)	10,272	40	4.0	—	—	95.0	25	
107期(2023年9月19日)	10,270	40	0.4	—	—	95.0	25	
108期(2023年10月17日)	10,131	40	△1.0	—	—	95.0	23	
109期(2023年11月17日)	10,672	40	5.7	—	—	95.0	24	
110期(2023年12月18日)	10,570	40	△0.6	—	—	95.0	63	
111期(2024年1月17日)	10,854	40	3.1	—	—	94.7	63	
112期(2024年2月19日)	11,065	40	2.3	—	—	94.9	63	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

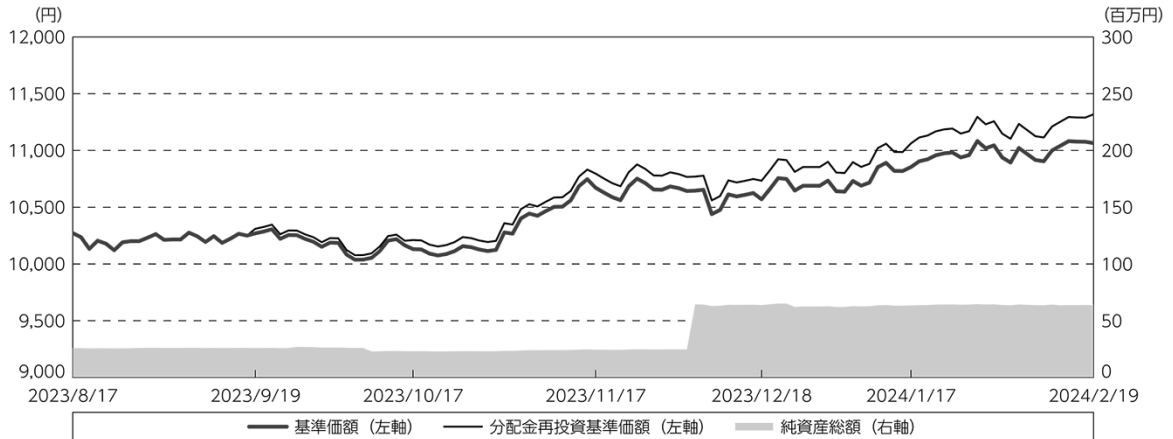
決算期	年 月 日	基準	価 額		投資信託 組 入 比	託 券 率
			騰 落	率		
第107期	(期 首) 2023年 8月17日	円		%		%
		10,272		—		95.0
	8月末	10,263		△0.1		95.0
第108期	(期 末) 2023年 9月19日		10,310	0.4		95.0
	(期 首) 2023年 9月19日		10,270	—		95.0
	9月末	10,152		△1.1		94.9
第109期	(期 末) 2023年10月17日		10,171	△1.0		95.0
	(期 首) 2023年10月17日		10,131	—		95.0
	10月末	10,124		△0.1		94.9
第110期	(期 末) 2023年11月17日		10,712	5.7		95.0
	(期 首) 2023年11月17日		10,672	—		95.0
	11月末	10,654		△0.2		94.8
第111期	(期 末) 2023年12月18日		10,610	△0.6		95.0
	(期 首) 2023年12月18日		10,570	—		95.0
	12月末	10,641		0.7		95.1
第112期	(期 末) 2024年 1月17日		10,894	3.1		94.7
	(期 首) 2024年 1月17日		10,854	—		94.7
	1月末	11,045		1.8		95.0
	(期 末) 2024年 2月19日		11,105	2.3		94.9

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

○運用経過

（2023年8月18日～2024年2月19日）

作成期間中の基準価額等の推移



第107期首：10,272円

第112期末：11,065円（既払分配金（税込み）：240円）

騰落率：10.2%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2023年8月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。ハイブリッド証券の中でもCOC債を中心に投資しております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・保有銘柄からインカム収益を得たこと。
- ・保有銘柄の債券価格が上昇したこと。
- ・米ドル、ユーロ、イギリスポンドが対円で上昇したこと。

投資環境

（Ｃ○Ｃ○債市況）

Ｃ○Ｃ○債市場は、期間の初めから2023年10月末にかけて下落した後は期間末にかけて概ね一本調子で大きく上昇し、当期間を通じても上昇しました。

期間の初めは、米国連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）による金融引き締めが長期化すると観測から世界的に金利が上昇したことや米国政府機関の閉鎖懸念が投資家心理を冷やし、Ｃ○Ｃ○債市場は下落しました。発行体が初回コール日にオプション行使を見合わせ償還期限を延長することへの警戒感の高まりや、2023年3月のクレディ・スイスのＡＴ１債の無価値化を受けて新規発行が少数にとどまっていたことへの懸念も相まってＣ○Ｃ○債市場は重い展開が続きました。

11月になると、コンセンサス対比で弱めの経済指標の発表を受けて、ＦＲＢによる金融引き締めサイクルが終わり2024年には利下げに転じるとの見方が広がりました。加えて欧州の銀行の2023年第3四半期決算で市場予想を上回る好調な業績発表が相ついでことが追い風となり、世界的に金利が低下しリスク性資産全般が騰勢を強める中でＣ○Ｃ○債市場は上昇しました。好調な銀行決算の背景には、金利上昇による純金利収入の増加が利益を押し上げたことが挙げられます。外部格付け会社が発行銀行の堅調なファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）を評価して一部Ｃ○Ｃ○債の信用格付を引き上げたことも買い材料となりました。新発債市場では、11月に複数の欧州の大手銀行によるまとまった額のＡＴ１債の発行が久しぶりに見られましたが、いずれも投資家の旺盛な需要を集めて順調に消化されたことから、Ｃ○Ｃ○債に対する安心感が一段と高まりました。

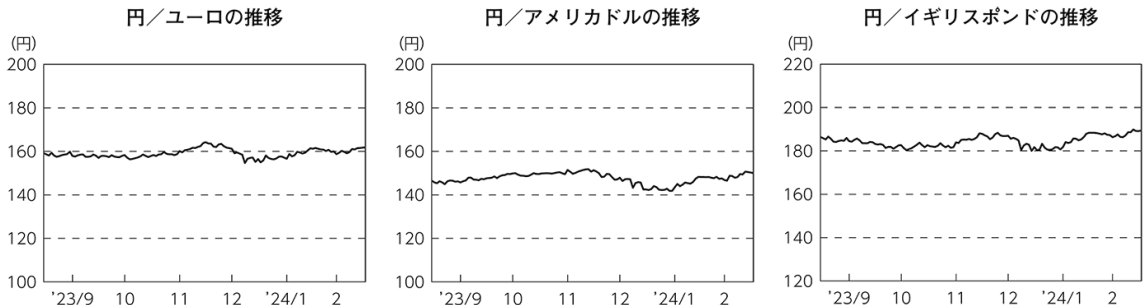
（国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの－0.06%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、－0.01%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（ＴＢ）3ヵ月物金利は、期間の初めの－0.12%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、－0.12%近辺で期間末を迎えました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

収益性を追求するため「グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド アンヘッジド・クラス」円建受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

(グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド アンヘッジド・クラス)

G-S I F I s（グローバルなシステム上重要な金融機関）に含まれる銀行が発行するC o C o債、ハイブリッド証券を主たる投資対象としました。ポートフォリオのデュレーション（金利感応度）は3年前後、平均格付けはBB+とし、発行体は20程度、80~95銘柄に分散投資しました。金利が上昇した機会をとらえてクーポンの高い新発債を買入れました。欧州の大手銀行のC o C o債に重点を置いたポートフォリオの基本的な構成を維持しました。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
	2023年8月18日～ 2023年9月19日	2023年9月20日～ 2023年10月17日	2023年10月18日～ 2023年11月17日	2023年11月18日～ 2023年12月18日	2023年12月19日～ 2024年1月17日	2024年1月18日～ 2024年2月19日
当期分配金 (対基準価額比率)	40 0.388%	40 0.393%	40 0.373%	40 0.377%	40 0.367%	40 0.360%
当期の収益	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,721	1,729	2,114	2,126	2,314	2,525

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てて算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、「グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド アンヘッジド・クラス」円建受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

（グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド アンヘッジド・クラス）

金融セクターは引き続き魅力的な投資対象と考えており、特に返済順位がシニア債より下位の劣後部分であるCOC債を含むハイブリッド証券は、リスク見合いでのより高い利回り水準に着目した買いが入りやすく、金融債の中でも有望な投資対象と考えています。

欧州の銀行は当局から要求される規制資本水準をほぼ満たしており、ハイブリッド証券のネット新規発行はこの先限定的となると考えられることから、テクニカル（需給）は良好です。マクロ環境面では、欧米のインフレ率は鈍化傾向にあり、欧米の中央銀行による2024年内の利下げ開始が見込まれる一方で、政策金利はコロナ禍前の低金利環境下よりも高い水準で推移することが想定されます。こうした状況下で銀行のファンダメンタルズは引き続き堅調に推移すると予想しています。2023年後半以降、欧州のCOC債の新規発行ではクーポンレートが8～10%の高い水準に設定されていますが、新発債への投資に際しては利回りだけを追求せず、発行銀行のファンダメンタルズを慎重に分析した上で選択的に投資しています。地域別では、米国よりも欧州の銀行により投資妙味があると考えており、欧州の投資比率を高め維持する方針です。欧州の銀行の中でも国を代表するような大手銀行の債券を中心に投資を行なう予定です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2023年 8 月18日～2024年 2 月19日）

項 目	第107期～第112期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 56	% 0.531	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(19)	(0.179)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(35)	(0.335)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	6	0.055	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 等 ）	(6)	(0.053)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
合 計	62	0.586	
作成期間の平均基準価額は、10,479円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

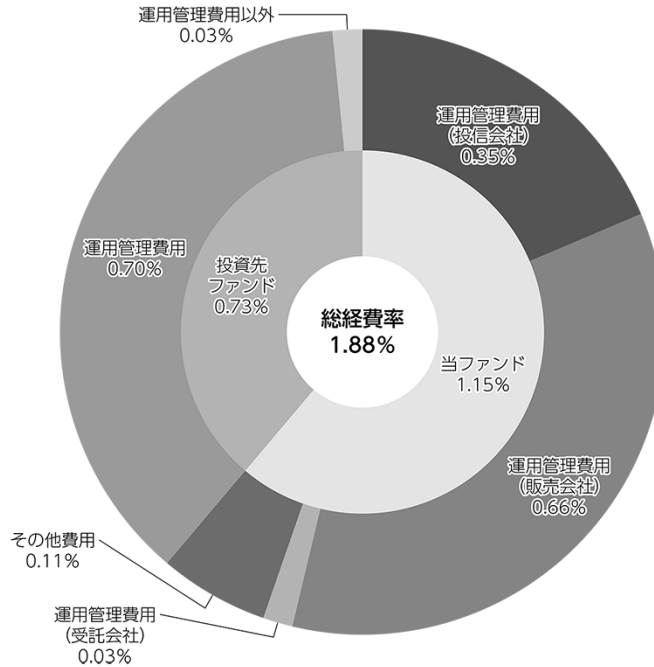
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.88%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.88
①当ファンドの費用の比率	1.15
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.70
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2023年8月18日～2024年2月19日）

投資信託証券

銘 柄		第107期～第112期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	グローバル・ハイブリッド・セキユリティーズ・ファンドアンヘッド・クラス	千口 39,990	千円 41,785	千口 8,671	千円 8,912

（注）金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄		第107期～第112期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
	マネー・アカウント・マザーファンド	千口 45	千円 45	千口 7	千円 7

○利害関係人との取引状況等

（2023年8月18日～2024年2月19日）

利害関係人との取引状況

<グローバル・ハイブリッド・プレミア（為替ヘッジなし）>

区 分	第107期～第112期					
	買付額等			売付額等		
	A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 41	百万円 41	% 100.0	百万円 8	百万円 8	% 100.0

<マネー・アカウント・マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2023年8月18日～2024年2月19日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2023年8月18日～2024年2月19日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

（2024年2月19日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	第106期末	第112期末		
	口数	口数	評価額	比率
	千口	千口	千円	%
グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンドアンヘジド・クラス	24,410	55,729	60,505	94.9
合計	24,410	55,729	60,505	94.9

（注）比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘柄	第106期末	第112期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド	25	62	62

（注）親投資信託の2024年2月19日現在の受益権総口数は、949,804千口です。

○投資信託財産の構成

（2024年2月19日現在）

項目	第112期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	60,505	94.3
マネー・アカウント・マザーファンド	62	0.1
コール・ローン等、その他	3,577	5.6
投資信託財産総額	64,144	100.0

（注）比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第107期末	第108期末	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末
	2023年9月19日現在	2023年10月17日現在	2023年11月17日現在	2023年12月18日現在	2024年1月17日現在	2024年2月19日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	26,247,429	23,198,545	24,632,944	64,048,152	63,902,616	64,144,271
コール・ローン等	1,318,799	1,239,689	1,230,780	3,402,567	3,268,917	3,258,326
投資信託受益証券(評価額)	24,626,095	21,935,866	23,291,448	60,581,412	60,105,848	60,505,207
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	25,684	22,951	23,927	63,776	62,233	62,847
未収入金	276,851	39	86,789	397	465,618	317,891
(B) 負債	328,066	116,085	119,698	286,705	444,877	361,329
未払収益分配金	100,947	91,133	91,878	241,291	233,867	230,576
未払解約金	200,302	410	897	802	142,590	50,410
未払信託報酬	24,485	20,374	20,864	35,276	54,062	60,445
未払利息	1	—	—	—	1	—
その他未払費用	2,331	4,168	6,059	9,336	14,357	19,898
(C) 純資産総額(A-B)	25,919,363	23,082,460	24,513,246	63,761,447	63,457,739	63,782,942
元本	25,236,912	22,783,391	22,969,541	60,322,886	58,466,764	57,644,082
次期繰越損益金	682,451	299,069	1,543,705	3,438,561	4,990,975	6,138,860
(D) 受益権総口数	25,236,912口	22,783,391口	22,969,541口	60,322,886口	58,466,764口	57,644,082口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,270円	10,131円	10,672円	10,570円	10,854円	11,065円

(注) 当ファンドの第107期首元本額は25,195,113円、第107～112期中追加設定元本額は41,203,463円、第107～112期中一部解約元本額は8,754,494円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第107期1.0270円、第108期1.0131円、第109期1.0672円、第110期1.0570円、第111期1.0854円、第112期1.1065円です。

○損益の状況

項 目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
	2023年8月18日～ 2023年9月19日	2023年9月20日～ 2023年10月17日	2023年10月18日～ 2023年11月17日	2023年11月18日～ 2023年12月18日	2023年12月19日～ 2024年1月17日	2024年1月18日～ 2024年2月19日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	147,000	132,531	133,836	350,071	338,827	334,052
受取配当金	147,050	132,545	133,836	350,084	338,838	334,057
受取利息	—	1	—	—	—	—
支払利息	△ 50	△ 15	—	△ 13	△ 11	△ 5
(B) 有価証券売買損益	△ 21,808	△ 334,230	1,216,687	△ 576,388	1,607,845	1,173,470
売買益	2,346	64,957	1,219,238	713	1,651,855	1,191,989
売買損	△ 24,154	△ 399,187	△ 2,551	△ 577,101	△ 44,010	△ 18,519
(C) 信託報酬等	△ 26,816	△ 22,310	△ 22,834	△ 38,624	△ 59,215	△ 66,203
(D) 当期損益金(A+B+C)	98,376	△ 224,009	1,327,689	△ 264,941	1,887,457	1,441,319
(E) 前期繰越損益金	1,883,580	1,627,590	1,305,858	2,503,141	1,915,100	3,460,149
(F) 追加信託差損益金	△ 1,198,558	△ 1,013,379	△ 997,964	1,441,652	1,422,285	1,467,968
(配当等相当額)	(2,441,573)	(2,275,664)	(2,316,342)	(10,254,962)	(9,965,759)	(9,884,406)
(売買損益相当額)	(△ 3,640,131)	(△ 3,289,043)	(△ 3,314,306)	(△ 8,813,310)	(△ 8,543,474)	(△ 8,416,438)
(G) 計(D+E+F)	783,398	390,202	1,635,583	3,679,850	5,224,842	6,369,436
(H) 収益分配金	△ 100,947	△ 91,133	△ 91,878	△ 241,291	△ 233,867	△ 230,576
次期繰越損益金(G+H)	682,451	299,069	1,543,705	3,438,561	4,990,975	6,138,860
追加信託差損益金	△ 1,198,558	△ 1,013,379	△ 997,964	1,441,652	1,422,285	1,467,968
(配当等相当額)	(2,441,573)	(2,275,664)	(2,316,342)	(10,254,962)	(9,965,759)	(9,884,406)
(売買損益相当額)	(△ 3,640,131)	(△ 3,289,043)	(△ 3,314,306)	(△ 8,813,310)	(△ 8,543,474)	(△ 8,416,438)
分配準備積立金	1,902,817	1,665,549	2,541,669	2,573,297	3,568,690	4,670,892
繰越損益金	△ 21,808	△ 353,101	—	△ 576,388	—	—

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2023年8月18日～2024年2月19日)は以下の通りです。

項 目	2023年8月18日～ 2023年9月19日	2023年9月20日～ 2023年10月17日	2023年10月18日～ 2023年11月17日	2023年11月18日～ 2023年12月18日	2023年12月19日～ 2024年1月17日	2024年1月18日～ 2024年2月19日
a. 配当等収益(経費控除後)	120,184円	110,221円	131,573円	311,447円	328,518円	319,381円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越大損金補填後)	0円	0円	844,786円	0円	1,006,165円	1,121,938円
c. 信託約款に定める収益調整金	2,441,573円	2,275,664円	2,316,342円	10,254,962円	9,965,759円	9,884,406円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	1,883,580円	1,646,461円	1,657,188円	2,503,141円	2,467,874円	3,460,149円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	4,445,337円	4,032,346円	4,949,889円	13,069,550円	13,768,316円	14,785,874円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	1,761円	1,769円	2,154円	2,166円	2,354円	2,565円
g. 分配金	100,947円	91,133円	91,878円	241,291円	233,867円	230,576円
h. 分配金(1万口当たり)	40円	40円	40円	40円	40円	40円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
1 万口当たり分配金（税込み）	40円	40円	40円	40円	40円	40円

○お知らせ

約款変更について

2023年8月18日から2024年2月19日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド アンヘッジド・クラス	
	ケイマン籍円建外国投資信託	
運用の基本方針		
基本方針	信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主な投資対象	世界の金融機関が発行するハイブリッド証券を主要投資対象とします。	
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資を行ない、相対的に高水準かつ安定的な利子・配当等収益の獲得を図りつつ、中長期的に信託財産の着実な成長を目指します。 ・外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。 	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 	
収益分配	原則として、毎月10日（休日の場合は翌営業日）に分配を行ないます。 なお、管理会社の判断により収益分配を行わないことがあります。	
ファンドに係る費用		
信託報酬など	純資産総額に対し年率0.74% (国内における消費税等相当額はかかりません。)	
申込手数料	ありません。	
信託財産留保額	ありません。	
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。	
その他		
投資顧問会社	アルジェブリス（UK）リミテッド	
管理会社	日興AMグローバル・ケイマン・リミテッド	
信託期間	2163年3月26日まで	
決算日	原則として、毎年12月末日	

◎投資有価証券明細表

グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド

2022年12月31日

	保有額面	公正価値 (米ドル)	純資産価額に 占める割合(%)
社債			
イタリア			
Intesa Sanpaolo 8.505% 20-Sep-32	1,500,000	1,788,127	0.66
イタリア合計 (取得原価: 1,704,042米ドル)		1,788,127	0.66
社債合計 (取得原価: 1,704,042米ドル)		1,788,127	0.66
変動金利債			
デンマーク			
Danske Bank A/S Perp FRN	1,000,000	947,500	0.35
デンマーク合計 (取得原価: 951,250米ドル)		947,500	0.35
フランス			
BNP Paribas FRN Perp 17-Nov-49	2,000,000	2,085,118	0.77
BNP Paribas FRN Perp 16-Feb-67	1,800,000	1,701,698	0.63
BNP Paribas FRN Perp 16-Feb-71	2,000,000	1,975,000	0.73
BNP Paribas FRN Perp 06-Jun-71	2,000,000	2,107,813	0.78
BNP Paribas FRN Perp	7,000,000	6,921,439	2.56
Credit Agricole FRN Perp 23-Dec-49	2,900,000	2,935,960	1.09
Credit Agricole FRN Perp 02-Mar-70	500,000	400,709	0.15
Credit Agricole FRN Perp 23-Mar-70	4,000,000	3,963,200	1.47
Societe Generale FRN Perp 22-Nov-49	1,500,000	1,539,320	0.57
Societe Generale FRN Perp 18-May-69	6,000,000	4,860,816	1.80
Societe Generale FRN Perp	5,000,000	5,006,250	1.85
Societe Generale FRN Perp	2,700,000	2,672,509	0.99
フランス合計 (取得原価: 39,325,469米ドル)		36,169,832	13.39
ドイツ			
Deutsche Bank FRN Perp 19-May-31	2,600,000	2,707,220	1.00
Deutsche Bank FRN Perp 30-Apr-49	2,400,000	2,647,103	0.98
Deutsche Bank FRN Perp 30-Apr-70	2,000,000	1,664,906	0.62
Deutsche Bank FRN Perp 30-Apr-71	2,200,000	2,050,145	0.76
Deutsche Bank FRN Perp	3,400,000	2,753,703	1.02
Deutsche Bank (New York Branch) FRN 08-Jul-31	500,000	433,070	0.16
Deutsche Bank (New York Branch) FRN 01-Dec-32	5,000,000	4,185,605	1.55

	保有額面	公正価値 (米ドル)	純資産価額に 占める割合(%)
変動金利債 (続き)			
ドイツ (続き)			
Deutsche Bank (New York Branch) FRN 07-Jan-33	3,000,000	2,142,897	0.79
ドイツ合計 (取得原価 : 21, 125, 822米ドル)		18,584,649	6.88
イタリア			
Intesa Sanpaolo FRN Perp 16-Nov-65	3,000,000	3,080,332	1.14
Intesa Sanpaolo FRN Perp 01-Mar-69	5,000,000	4,401,061	1.63
Intesa Sanpaolo FRN Perp 01-Mar-69	5,000,000	4,284,891	1.58
Intesa Sanpaolo FRN Perp 11-Jul-70	2,000,000	2,056,159	0.76
Intesa Sanpaolo FRN Perp	2,900,000	2,652,244	0.98
Unicredit Spa FRN 02-Apr-34	3,000,000	2,755,545	1.02
Unicredit Spa FRN 30-Jun-35	1,000,000	814,582	0.30
Unicredit Spa FRN Perp 03-Dec-65	2,500,000	2,577,135	0.95
Unicredit Spa FRN Perp 03-Jun-67	5,000,000	5,182,926	1.92
Unicredit Spa FRN Perp 03-Jun-70	200,000	158,513	0.06
Unicredit Spa FRN Perp	6,000,000	4,784,683	1.77
Unicredit Spa FRN Perp	2,000,000	1,909,340	0.71
イタリア合計 (取得原価 : 42, 469, 172米ドル)		34,657,411	12.82
オランダ			
ABN AMRO FRN Perp 22-Sep-69	2,000,000	1,966,510	0.73
ABN AMRO FRN Perp	1,000,000	904,470	0.33
Rabobank FRN Perp 29-Jun-70	2,400,000	2,193,039	0.81
Rabobank FRN Perp	3,000,000	2,845,580	1.05
ING Groep FRN Perp 16-Oct-70	7,000,000	6,618,416	2.45
ING Groep FRN Perp	6,000,000	5,324,304	1.97
オランダ合計 (取得原価 : 21, 232, 643米ドル)		19,852,319	7.34
スペイン			
Banco Santander FRN Perp 19-Jun-66	4,000,000	3,735,878	1.38
Banco Santander FRN Perp 14-Apr-68	7,000,000	6,340,409	2.35
Banco Santander FRN Perp	5,000,000	4,255,648	1.57
BBVA FRN Perp 29-Jun-67	5,600,000	5,809,049	2.15
BBVA FRN Perp 15-Oct-68	6,000,000	6,091,378	2.25
BBVA FRN Perp 05-Dec-68	2,000,000	1,915,010	0.71

	保有額面	公正価値 (米ドル)	純資産価額に 占める割合(%)
変動金利債 (続き)			
スペイン (続き)			
Caixabank FRN Perp 13-Sep-68	2,200,000	2,287,484	0.84
Caixabank FRN Perp 09-Jan-69	5,000,000	4,880,735	1.81
Caixabank FRN Perp 19-Dec-69	5,000,000	5,195,712	1.92
Caixabank FRN Perp 23-Jun-70	2,800,000	2,581,884	0.95
Caixabank FRN Perp	3,000,000	2,267,354	0.84
スペイン合計 (取得原価 : 53, 332, 871米ドル)		45,360,541	16.77
スイス			
Credit Suisse FRN 02-Apr-26	500,000	478,463	0.18
Credit Suisse FRN 13-Oct-26	600,000	543,827	0.20
Credit Suisse FRN 12-Jan-29	1,000,000	802,850	0.30
Credit Suisse FRN 01-Mar-29	300,000	317,920	0.12
Credit Suisse FRN 02-Apr-32	300,000	230,458	0.09
Credit Suisse FRN 15-Nov-33	500,000	513,448	0.19
Credit Suisse FRN Perp 11-Feb-69	1,000,000	650,787	0.24
Credit Suisse FRN Perp 21-Feb-70	600,000	429,988	0.16
Credit Suisse FRN Perp	800,000	697,175	0.26
Julius Baer Group FRN Perp 09-Dec-70	500,000	475,625	0.18
UBS Group AG FRN Perp	3,000,000	2,927,268	1.08
UBS Group FRN Perp 29-Jul-49	1,000,000	932,500	0.34
UBS Group FRN Perp 12-Aug-70	2,000,000	1,695,000	0.62
UBS Group Funding (Switzerland) FRN Perp 31-Jul-67	8,000,000	7,871,960	2.91
スイス合計 (取得原価 : 20, 744, 999米ドル)		18,567,269	6.87
英国			
Barclays FRN Perp 15-Mar-68	3,000,000	3,301,877	1.22
Barclays FRN Perp 15-Dec-70	1,900,000	1,776,500	0.66
Barclays Plc FRN Perp 15-Sep-67	1,000,000	971,605	0.36
Barclays Plc FRN Perp 15-Sep-67	5,000,000	5,685,467	2.10
Barclays Plc FRN Perp 15-Dec-68	1,000,000	912,500	0.34
Barclays Plc FRN Perp 15-Dec-70	2,000,000	2,366,935	0.88
Barclays Plc FRN Perp	1,500,000	1,780,830	0.66
Barclays Plc FRN Perp	2,000,000	2,199,081	0.81

	保有額面	公正価値 (米ドル)	純資産価額に 占める割合(%)
変動金利債 (続き)			
英国 (続き)			
HSBC Holdings FRN Perp 23-Sep-66	1,500,000	1,381,014	0.51
HSBC Holdings FRN Perp 28-Mar-67	2,000,000	2,141,462	0.79
Lloyds Banking FRN Perp 27-Dec-66	2,000,000	1,929,414	0.71
Lloyds Banking FRN Perp 27-Jun-69	3,000,000	3,440,228	1.27
Lloyds Banking FRN Perp 27-Jun-69	3,000,000	2,907,600	1.08
Lloyds Banking FRN Perp 27-Dec-70	5,500,000	6,641,125	2.46
Lloyds Banking FRN Perp	3,000,000	3,058,188	1.13
Nationwide Building Society FRN Perp	2,000,000	2,267,478	0.84
Nationwide Building Society FRN Perp 20-Dec-70	4,000,000	4,305,615	1.59
Natwest Group FRN Perp 29-Sep-68	6,000,000	5,540,676	2.05
Natwest FRN Perp 31-Mar-71	1,000,000	920,101	0.34
Natwest Group FRN Perp	5,000,000	5,042,511	1.86
RBS Group Plc FRN Perp	5,000,000	4,918,750	1.82
Santander UK Group FRN Perp	2,000,000	2,306,572	0.85
英国合計 (取得原価 : 73,728,672米ドル)		65,795,529	24.33
米国			
PNC Financial Services Group FRN Perp 15-Aug-70	450,000	422,830	0.15
米国合計 (取得原価 : 450,000米ドル)		422,830	0.15
変動金利債総額 (取得原価 : 273,360,898米ドル)		<u>240,357,880</u>	<u>88.90</u>
投資合計、公正価値 (取得原価 : 275,064,940米ドル)		<u>242,146,007</u>	<u>89.56</u>
為替先渡契約		<u>6,389,826</u>	<u>2.37</u>
純金融資産合計		<u>248,535,833</u>	<u>91.93</u>
その他純資産		<u>21,831,596</u>	<u>8.07</u>
純資産合計		<u>270,367,429</u>	<u>100.00</u>

為替先渡契約

2022年12月31日時点において、シリーズ・トラストは保管会社との間で次の為替先渡契約を保有していた。

契約額 買い/ (売り)	通貨	満期日	米ドル未収額/ (未払額) (米ドル)	外貨受取/ (支払) (米ドル)	未実現利益 (米ドル)
2,071,995	ブラジル・レアル	06-Jan-23	(386,792)	391,876	5,084
(364,305)	ブラジル・レアル	06-Jan-23	69,428	(68,901)	527
(26,243,077)	英ポンド	12-Jan-23	31,962,350	(31,579,977)	382,373
665,750	カナダ・ドル	05-Jan-23	(486,611)	491,361	4,750
278,000	ユーロ	12-Jan-23	(296,356)	296,976	620
(5,248,186)	インド・ルピー	06-Jan-23	63,683	(63,411)	272
26,115,796,489	日本円	12-Jan-23	(192,051,508)	198,288,561	6,237,053
7,887,807	メキシコ・ペソ	05-Jan-23	(387,550)	404,272	16,722
5,364,720	ノルウェー・クローネ	05-Jan-23	(499,586)	544,728	45,142
6,959,304	南アフリカ・ランド	05-Jan-23	(385,757)	408,777	23,020
7,821,041	新トルコ・リラ	05-Jan-23	(379,341)	415,706	<u>36,365</u>
	為替先渡契約に係る未実現利益				<u>6,751,928</u>

為替先渡契約（続き）

契約額 買い/ 売り	通貨	満期日	米ドル未収額/ (未払額) (米ドル)	外貨受取/ (支払) (米ドル)	未実現損失 (米ドル)
968,125	英ポンド	03-Jan-23	(1,165,400)	1,164,700	(700)
26,000	英ポンド	12-Jan-23	(31,388)	31,287	(101)
1,943,495	ユーロ	03-Jan-23	(2,074,895)	2,074,795	(100)
(68,856,098)	ユーロ	12-Jan-23	73,204,560	(73,556,218)	(351,658)
31,562,038	インド・ルピー	06-Jan-23	(382,140)	381,348	(792)
5,910,277,100	インドネシア・ルピア	06-Jan-23	(383,036)	379,624	(3,412)
(995,900,000)	インドネシア・ルピア	06-Jan-23	63,694	(63,968)	(274)
(1,393,645)	メキシコ・ペソ	05-Jan-23	70,613	(71,428)	(815)
(196,316)	ノルウェー・クローネ	05-Jan-23	18,704	(19,934)	(1,230)
(1,202,492)	南アフリカ・ランド	05-Jan-23	68,680	(70,633)	(1,953)
(1,222,104)	新トルコ・リラ	05-Jan-23	63,891	(64,958)	(1,067)

為替先渡契約に係る未実現損

(362,102)

上記の為替先渡契約はすべて様々な受益証券クラスのためのヘッジおよび為替オーバーレイ戦略に関連している。上記の未決済契約の他方通貨はすべて米ドルである。上記の為替先渡契約は当期を通して保有していた為替先渡契約の代表的なものである。

シリーズ・トラストは、その取り組むデリバティブ商品やヘッジ活動についての情報開示に関し、FASB会計基準編纂書に記される権威あるガイダンスを採用している。このガイダンスはデリバティブおよびヘッジ活動についての高度な開示を必要とし、それによって財務報告の透明性を高めている。このガイダンスの目的は、なぜ、どのようにデリバティブ商品が使われているか、デリバティブ商品や関連したヘッジがどのように会計処理されているか、そしてデリバティブ商品や関連したヘッジが財務状況や業績、キャッシュフローに関係するとすればどのような影響を与えているかについて、財務諸表のユーザーに対し理解を深めるための目安を示すことである。このガイダンスを採用することで、資産負債計算書、損益計算書あるいは純資産変動計算書には何らの影響もなかった。シリーズ・トラストはいかなるデリバティブ商品もこのガイドの示すところのヘッジ商品として指定していない。

シリーズ・トラストによる為替先渡契約への投資は主としてクラス・ヘッジおよびカレンシー・オーバーレイを目的とし、主たるリスク・エクスポージャーは為替リスクである。

デリバティブ商品とヘッジ活動

以下の表は2022年12月31日に終了した年度の損益計算書に含まれるデリバティブに係る純損失を示している。

	実現利益/ (損失) (米ドル)	純未実現利益/ (損失)の変動額 (米ドル)	合計 (米ドル)	当年度中の 平均活動 (米ドル)
為替先渡契約	(25,110,551)	10,519,824	(14,590,727)	(1,821)*

*為替先渡契約の平均活動は、ヘッジまたはオーバーレイ受益証券クラスで保有している投資の通貨に対する米ドル価額に関連している。当年度中の平均活動は、米ドルに換算した各契約の平均想定エクスポージャーを用いて計算した購入活動に基づいている。

◎資産負債計算書

グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド

2022年12月31日
(米ドル)

資産

投資、公正価値（取得原価：275,064,940米ドル）	242,146,007
現金	28,346,647
拘束預金	243,883
為替先渡契約に係る未実現利益	6,751,928
未収利息	2,981,174

資産合計

280,469,639

負債

為替先渡契約に係る未実現損	362,102
未払運用報酬	43,626
投資購入に係る未払金	9,406,332
その他の未払報酬	290,150

負債合計

10,102,210

純資産

270,367,429

受益証券1口当たり純資産価額ークラスAヘッジなし受益証券

(純資産総額8,777,243,432円と発行済受益証券9,646,092,876口に基づく)

JPY 0.9099

受益証券1口当たり純資産価額ークラスB日本円ヘッジ付受益証券

(純資産総額26,437,662,890円と発行済受益証券34,327,789,818口に基づく)

JPY 0.7702

受益証券1口当たり純資産価額ークラスCハイインカム・リキッド・カレンシー・
ユニット (純資産総額197,068,058円と発行済受益証券399,828,444口に基づく)

JPY 0.4929

受益証券1口当たり純資産価額ークラスDハイインカム・エマージング・カレンシー・
ユニット (純資産総額261,656,005円と発行済受益証券8,300,431,142口に基づく)

JPY 0.0315

◎損益計算書

グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド

2022年12月31日に終了した年度
(米ドル)**投資収益**

利息収入 12,312,779

投資収益合計 12,312,779

費用

支払利息 438

受託者報酬 25,821

運用報酬 172,300

投資運用報酬 1,248,960

管理報酬 93,697

保管費用 67,671

専門家報酬 17,607

その他費用 4,466

費用合計 1,630,960

投資純利益 10,681,819**実現純損失および純未実現評価損の変動額**

実現損失

投資および通貨に係る実現純損失 (4,968,871)

為替先渡契約に係る純実現損失 (25,110,551)

(30,079,422)

未実現評価（損）益の変動額

投資および通貨に係る未実現評価損の純変動額 (32,721,011)

為替先渡契約に係る未実現評価益の純変動額 10,519,824

(22,201,187)

実現純損失および純未実現評価損の変動額 (52,280,609)**運用による純資産の純減少額 (41,598,790)**

◎純資産変動計算書

グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド

2022年12月31日に終了した年度
(米ドル)

運用による純資産の純減少額

投資純利益	10,681,819
実現純損失	(30,079,422)
未実現評価損の純変動額	(22,201,187)
運用による純資産の純減少額	<u>(41,598,790)</u>

受益者への分配金：

クラスAヘッジなし受益証券からの分配金	(3,872,382)
クラスB日本円ヘッジ付受益証券からの分配金	(13,238,693)
クラスCハイインカム・リキッド・カレンシー・ユニットからの分配金	(286,632)
クラスDハイインカム・エマージング・カレンシー・ユニットからの分配金	(3,672,057)
分配金合計	<u>(21,069,764)</u>

資本取引：

受益証券の発行：

クラスAヘッジなし受益証券の発行 (4,334,509,303口)	30,146,122
クラスB日本円ヘッジ付受益証券の発行 (15,488,820,852口)	87,495,217
クラスCハイインカム・リキッド・カレンシー・ユニットの発行 (95,227,169口)	413,125
クラスDハイインカム・エマージング・カレンシー・ユニットの発行 (8,445,032,804口)	3,819,311
	<u>121,873,775</u>

受益証券買戻し：

クラスAヘッジなし受益証券の買戻し (1,109,457,736口)	(8,353,871)
クラスB日本円ヘッジ付受益証券の買戻し (5,982,450,086口)	(41,197,421)
クラスCハイインカム・リキッド・カレンシー・ユニットの買戻し (130,231,374口)	(558,453)
クラスDハイインカム・エマージング・カレンシー・ユニットの買戻し (2,225,536,679口)	(952,494)
	<u>(51,062,239)</u>

資本取引から生じる純資産の純増加額

70,811,536

純資産の純増加額

8,142,982

純資産

期首 262,224,447期末 270,367,429

マネー・アカウント・マザーファンド

運用報告書

第14期（決算日 2023年10月12日）
（2022年10月13日～2023年10月12日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。

ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行ないます。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
10期(2019年10月15日)	円		%		%	百万円
	10,028		△0.0		—	586
11期(2020年10月12日)	10,025		△0.0		—	888
12期(2021年10月12日)	10,023		△0.0		—	1,125
13期(2022年10月12日)	10,022		△0.0		—	560
14期(2023年10月12日)	10,018		△0.0		—	458

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(期 首) 2022年10月12日	円		%
	10,022		—
10月末	10,022		0.0
11月末	10,021		△0.0
12月末	10,020		△0.0
2023年1月末	10,020		△0.0
2月末	10,020		△0.0
3月末	10,020		△0.0
4月末	10,020		△0.0
5月末	10,019		△0.0
6月末	10,019		△0.0
7月末	10,019		△0.0
8月末	10,018		△0.0
9月末	10,018		△0.0
(期 末) 2023年10月12日	10,018		△0.0

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2022年10月13日～2023年10月12日)

基準価額の推移

期間の初め10,022円の基準価額は、期間末に10,018円となり、騰落率は△0.0%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.03%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.03%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.16%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.21%近辺で期間末を迎えました。

ポートフォリオ

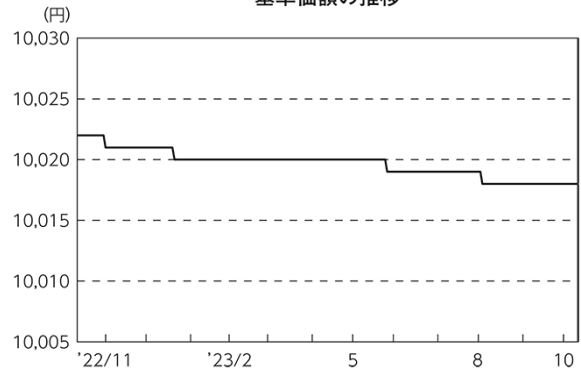
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2022/10/12	2022/10/13	2023/08/03	2023/10/12
10,022円	10,022円	10,018円	10,018円

○1万口当たりの費用明細

(2022年10月13日～2023年10月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,019円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年10月13日～2023年10月12日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2022年10月13日～2023年10月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年10月13日～2023年10月12日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2023年10月12日現在)

2023年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2023年10月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	460,554	100.0
投資信託財産総額	460,554	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年10月12日現在)

項	目	当	期	末
(A) 資産				円
	コール・ローン等			460,554,227
(B) 負債				
	未払解約金			460,554,227
	未払利息			154
(C) 純資産総額(A-B)				458,012,074
	元本			457,205,640
	次期繰越損益金			806,434
(D) 受益権総口数				457,205,640口
	1万円当たり基準価額(C/D)			10,018円

(注) 当ファンドの期首元本額は559,411,728円、期中追加設定元本額は65,398,257円、期中一部解約元本額は167,604,345円です。

(注) 2023年10月12日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル・プロスペクティブ・ファンド	237,562,073円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース> (毎月分配型)	1,008,393円
・中華圏株式ファンド (毎月分配型)	61,601,208円	・インデックスファンドMLP (1年決算型)	873,815円
・グローバルC o C o債ファンド 円ヘッジコース	39,403,892円	・S M B C ・日興 世銀債ファンド	817,802円
・グローバルC o C o債ファンド ヘッジなしコース	16,912,508円	・エマージング・プラス・円戦略コース	690,677円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネーベースファンド)	12,476,397円	・欧州社債ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	553,224円
・エマージング・プラス(マネーベースファンド)	9,883,036円	・D C世界株式・厳選投資ファンド	472,243円
・アジア社債ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	9,797,265円	・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド (毎月分配型) 為替ヘッジあり	421,031円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース> (毎月分配型)	9,153,672円	・世界標準債券ファンド (1年決算型)	260,591円
・インデックスファンドMLP (毎月分配型)	7,091,485円	・欧州社債ファンド Aコース (為替ヘッジあり)	198,309円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	6,597,366円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース> (毎月分配型)	117,667円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース	6,192,802円	・上場インデックスファンド海外新興国株式 (MSCIエマージング)	99,902円
・世界標準債券ファンド	6,082,942円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア (為替ヘッジあり)	48,754円
・ビッグデータ新興国小型株ファンド (1年決算型)	5,821,782円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア (為替ヘッジなし)	22,949円
・エマージング・プラス・成長戦略コース	3,018,587円	・上場インデックスファンド海外先進国株式 (MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド (毎月分配型) 為替ヘッジなし	3,000,903円	・上場インデックスファンド米国株式 (S&P500)	19,983円
・アジアリートファンド (毎月分配型)	2,676,160円	・上場インデックスファンド豪州リート (S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・アジア社債ファンド Aコース (為替ヘッジあり)	2,538,599円	・上場インデックスファンド新興国債券	9,981円
・グローバル・ダイナミックヘッジα	2,517,567円	・上場インデックスファンドフランス国債 (為替ヘッジあり)	9,979円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース> (毎月分配型)	1,963,920円	・上場インデックスファンドフランス国債 (為替ヘッジなし)	9,979円
・インド株式フォーカス (奇数月分配型)	1,797,541円	・上場インデックスファンド豪州国債 (為替ヘッジなし)	9,978円
・グローバル株式トップフォーカス	1,696,908円	・上場インデックスファンド豪州国債 (為替ヘッジあり)	9,978円
・グリーン世銀債ファンド	1,451,090円	・上場インデックスファンド米国株式 (S&P500) 為替ヘッジあり	9,967円
・アジアREITオープン (毎月分配型)	1,224,190円	・上場インデックスファンド米国債券 (為替ヘッジなし)	9,958円
・日興マネー・アカウント・ファンド	1,018,655円	・上場インデックスファンド米国債券 (為替ヘッジあり)	9,958円

(注) 1口当たり純資産額は1,0018円です。

○損益の状況

(2022年10月13日～2023年10月12日)

項	目	当	期
(A) 配当等収益			円
	受取利息	△	198,410
	支払利息		939
(B) 保管費用等		△	199,349
(C) 当期損益金(A+B)		△	102
(D) 前期繰越損益金		△	198,512
(E) 追加信託差損益金			1,218,941
(F) 解約差損益金			129,627
(G) 計(C+D+E+F)		△	343,622
	次期繰越損益金(G)		806,434

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2022年10月13日から2023年10月12日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、当該ファンドにて行なうデリバティブ取引の利用目的を明確化するべく、2023年7月21日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(付表、第16条、第17条、第18条)